

1. 施設の概要等

施設の概要	施設の名称	あおぞら工房諏訪			担当課	社会福祉課障がい福祉係				
	所在地	諏訪市湖岸通り5－8－8			開設年月日	平成17年4月1日				
	施設設置目的	主として精神に障害を持つ人に対して、就労に向けた訓練や生産活動の機会を提供し、自立と社会復帰を支援する。								
	施設内容	木造1階建て 延べ面積:284.85㎡ 作業室・調理室・集会室・相談室・静養室ほか								
	指定管理者	社会福祉法人 この街福祉会			選定方法	○公募（応募者数1）・非公募				
	指定期間	令和3年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月31日（ 5年間 ）（ 5年目 ）								
	指定管理者の主な業務	□就労機会、生産活動その他の活動の機会の提供 □就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練 □施設、機械設備、駐車場等敷地内の維持管理								
	利用料金制の導入	○有 ・ 無			指定管理料	有 ・ ○無				
	施設の利用状況等	指 標（単位）	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比(%)	対前年比(%)	備考		
		1日平均利用者数(人)	13	12.9	13.1	1.0				
【特記事項】登録者数は5人減となったが、延べ利用者数、利用時間数は若干の減にとどまっている。										
収支		指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				
		計画額		収支実績額			令和7年度決算		※基署から受けたが、法人全	
	収入	項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)	収入	項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
		就労事業収入	4,329,000	就労事業収入	4,055,284					
		訓練等給付費	25,600,000	訓練等給付費	25,521,446					
		利用者負担金	3,000	利用者負担金	1,950					
		寄付金	20,000	寄付金	20,000					
		その他	1,274,000	その他	1,267,820					
		計	31,226,000	計	30,866,500				計	0
	支出	就労事業支出	3,961,000	就労事業支出	3,912,589	支出				
		人件費	19,975,000	人件費	19,715,822					
		事務費	2,002,000	事務費	1,791,012					
		事業費	2,848,000	事業費	2,656,424					
		会計間繰出金		会計間繰出金						
		雑損失		雑損失						
		積立金	589,250	積立金	585,242					
		その他		その他						
		計	29,375,250	計	28,661,089		計	0		0
	損益	1,850,750		2,205,411		差引	0			

2. 指定管理者及び(市施設所管課)による評価・・・別紙

3. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月～令和8年3月
	調査対象	その期間に通所している利用者
	調査方法	個別面談によるアンケート及び聞き取り調査
調査結果	調査実施利用者数19人 回答者19人(回答率100% アンケートは年2回実施) 回答者属性 ○性別 男性11人(58%) 女性8人(42%) ○年齢別 20代:2人 30代:2人 40代:5人 50代:7人 60代:3人 利用者の評価 ○あおぞら通所目的:生活リズムを整える等9人、仕事・工賃8人、自分のため他2人 ○職員との対話 「話を聞いてくれる、話せる」18人(95%)、「聞いてくれない」1人(5%) ○卒業後目標:「一般就労等」3人、「独暮らし」1人、「無、わからない」15人 概ね現状に満足をいただいているが、就労のステップアップには少し消極的な傾向は継続。	
利用者からの意見 要望・苦情等	○あおぞら工房に通う上での困りごと、悩み 体調・精神状態への不安、独り暮らし、家族・人間関係 ○将来の就労への意識 「就労(A型又は一般)を目指す」21% 「今のまま、現状維持」79% ○施設への要望・意見 ・他の利用者の不適切な行動に対する職員対応への意見、業務への負担と職員からの要求に対する意見、着替え中の暖房の利用について要望	

4. 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	□令和7年度は、概ね予算に沿った事業運営を行うことができた。法人内での繰入・貸付が一部あるが、法人本部と連携して対応していきたい。 □1日平均利用者は12.9人で昨年より若干減であった。令和7年度末現在の利用登録者も5人減となったが、個人の利用日数・就労時間数の増加を図り全体ではほぼ前年レベルを維持している。給付費は平均工賃の増により基本単位数が増となり、昨年比2.8%増の25,521千円であった。就労収入も主に諏訪赤十字病院販売好調により、昨年比11.5%増の約4, 055千円。平均工賃は昨年比1,903円増の17,641円であった。
今後の目標	□昨年度末で職員1名退職に伴い、4月上旬から新規職員を1名採用した。クッキー・焼菓子・布製品等安定した製造販売ができるよう、新規職員の指導を丁寧に進める。また、継続して既存の利用者の利用拡大を促進しながら、新規利用者の確保にも留意する。 □イベント系販売への積極的参加とともに、店頭販売、注文販売等多様な販売形態についてPRを進め、受注を拡大する。 □利用者への工賃支給の充実を図り、モチベーションアップと今後の安定した給付費の受給に繋げる。

5. 市(施設所管課)による総合評価

総合評価の基準

- A(1. 0) 36項目評価が72点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。
- B(0. 8) 36項目評価が58点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。
- C(0. 5) 36項目評価が45点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。
- D(0. 2) アンケート調査、セルフモニタリングの方法自体に改善を必要とするところがある。
- E(0. 0) アンケート調査等が実施されていないなどの基本的な問題がある。

目主製品の販売活動では、王力の焼き菓子に加え、布小物やアクセサリー、エコバッグ、焼き芋など多様な商品を展開し、収益向上に寄与し、特に日赤での販売は大きな利益につながっている。年2回の面談時のアンケートでは全員から回答があり、要望があった3件は速やかに対応し利用者のサービス向上となった。安全管理面では、防犯カメラの設置による防犯体制に取り組んでいるほか、年2回の避難訓練と折り畳みヘルメットの購入により、職員・利用者の防災意識向上にも努めている。なお、職員出勤簿について問題はあったが既に対応を進めている。	配点	評価
	10	B
	点数	8

判断の基準		合計点数
80点以上	「優良」	79.3
65点以上80点未満	「良」	
50点以上65点未満	「標準」	判断結果
50点未満	「不可」※	
※「不可」の場合は、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要があります。 また、「優良」の場合は、施設所管課と制度主幹課で再確認作業を行うこととします。		良

※施設の目的に沿って評価項目の追加・削除をすることができる。
※施設の目的に沿って評価項目の配点に重み付けを行うことができる。

評 価 項 目				評 価				評価に対する説明
大項目	中項目	小項目	配点	指定管理者	市			
				評価区分	評価区分	乗率	点数	
1 管 理 能 力	適切な管理運営	市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理運営はされているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	市民の平等利用	正当な理由なく、一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	1	B	B	0.8	0.8	
		事業内容に偏りがあり、利用者が限られていることはないか。	1	B	B	0.8	0.8	
	適切な組織・体制	職員体制や人員配置は適正であるか。	2	C	C	0.5	1.0	準職員1名が年度末で急遽退職となり、新年度当初は1名減の状況であったが、新規職員も補充でき、新体制で業務を進めている
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		労働関係法令等を遵守した労務管理規定等を整備し、従事者の適正な労働条件を確保しているか。	3	B	C	0.5	1.5	
	職員研修・人材育成	職員研修や業務指導に関し、適切に実施されているか。	3	B	B	0.8	2.4	7年度で副主任のサビ管研修が終了。今後状況を見ながら新たな職員体制の検討を行う。
	安全対策・緊急時対応	事故や災害等の緊急時のマニュアルが整備され、連絡体制が確立しているか。	3	B	B	0.8	2.4	市からの補助金を活用し、職員・利用者の地震等避難用のヘルメットを購入、非常食も補充し防災対応の強化に努めた。
		利用者の安全確保に対する研修・訓練等を実施し、職員が内容を熟知しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		施設・警備等の防犯体制は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
	個人情報及び秘密の保護	個人情報及び職員が業務上知り得た秘密について、職員への指導の徹底と対策が講じられているか。	4	B	B	0.8	3.2	
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表できる体制が整っているか	2	B	B	0.8	1.6	
	経理及び事務処理等	専用の口座、経理帳簿や台帳を整備し、適切に経理事務が行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		現金管理の方法は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
		業務日誌、各種報告書を適切に作成・整備し、遅延なく市に提出されているか。	3	B	B	0.8	2.4	
団体の経営状況		団体の経営状況は安定しているか。	2	C	C	0.5	1.0	
事業運営	事業計画書に基づき、適切に事業が実行されているか。	3	B	B	0.8	2.4		
	事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	2	B	B	0.8	1.6		
2 施 設 の 運 営	施設の維持管理	仕様書等に基づき、清掃、警備、衛生の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		仕様書等に基づき、施設、設備の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		利用に支障をきたすような状況を放置せず、適切に修繕が行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	再委託業務	再委託されている業務の範囲・理由等は適切であり、かつ委託先の業務を適切に管理しているか。	0	B	B	0.8	0.0	
	備品の維持管理	備品台帳に基づき備品を適切に管理され、その機能が失われていないか。	2	B	B	0.8	1.6	
	利用状況	利用者数、稼働率が設定した目標に対して適正な水準であるか。	3	B	B	0.8	2.4	登録利用者数は年度末で19名となり定員割れの状況だが、各利用者の利用率は上がっており、給付費の維持に貢献している。
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	利用者へのサービス	利用者へのサービス向上に努めているか。	4	A	A	1.0	4.0	令和7年度から利用者への工賃支給について、負担のかかる業務について加算を設定するとともに、特に調理室については従事者の負担軽減のための立ち椅子の導入、備品類の更新に取組んだ。
	障がい者等への配慮	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	5	B	B	0.8	4.0	
	要望・苦情等への対応	利用者アンケートが適切に実施されており、要望・苦情等に適切に対応しているか。	3	A	A	1.0	3.0	利用者から施設運営にかかわる意見・要望をいただいたが、迅速に対応し、適切な運営に務めた。
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われ、改善に結びつける方策がとられているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	環境への配慮	省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	地域連携・地域貢献	地域の住民や関係団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		市内事業者の活用、市内の雇用など地域への貢献への配慮がされているか。	2	B	B	0.8	1.6	
自主事業	施設の設置目的に沿って自主事業を実施し、サービス水準の向上に寄与しているか。	3	B	B	0.8	2.4		
経費節減・業務効率化	事業計画書に基づき、経費節減や業務効率化が実行されているか。	2	B	B	0.8	1.6		
収支・決算	予算に従い適切に執行されており、収支予算書と比較して収支状況が適切であるか。	3	B	B	0.8	2.4		
計			90				71.3	

評価の基準		
A	(1. 0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる
B	(0. 8)	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき適切に実施されており、問題は見られない
C	(0. 5)	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、既に改善済みである。
D	(0. 2)	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、現在改善に向け対応中で、近日中に改善される見込みである。
E	(0. 0)	不適切な部分が確認されたので改善を指示したが、未対応又は改善の見込みがなく、指定管理者の取消の処分を検討する必要がある。

合計
71.3